

- # 訪問調査票 1 (OCR用)

70

被保険者氏名、被保険者番号
を必ず確認してください。

保険者番号

被保険者番号

概況調査

調査対象者

氏名	性別	生年月日			
	☐ 男 ☐ 女	☐ 明治 ☐ 大正 ☐ 昭和	年	月	日
			() 才		

氏名	現住所	TEL
連絡先	連絡先住所	TEL

調査実施者

実施日 元号

調査員

現在受けているサービス

☐ 介護給付
 ☐ 予防給付
総合事業

☐ なし

現在状況

居宅の場合該当するサービス

訪問介護

訪問入浴

訪問看護

通所リハ

用具貸与

小規模居宅

住宅改修

有

特定施設入居者生活介護（介護付ケアハウス等）利用中の場合は、「特定施設」で06を記入。

認定調査を行った月のサービス利用回数を記入（介護予防福祉サービス利用日時点は介護予防福祉サービス過去6月の平均値）

訪問

地域

地域特定

看護小規模

市町村特別給付

予防給付・介護給付以外の在宅サービス

メモ欄

※メモ欄への記載内容は、審査会資料に反映されません。

※調査対象者が施設等に入所している場合は、施設等の名称を記入。

配食サービス・緊急通報装置などの利用があればチェックし、内容を記入。（詳細は特記事項1枚目の概況記入スペースに記入）

基本調査

麻痺・拘縮は「有」の場合は合計欄にチェックした数を記入。「無」の場合は「0」を記入。

第1群 身体機能・起居動作

1-1 麻痺（複数回答可）

回答合計

左上肢

右上肢

左下肢

右下肢

その他

1-2 拘縮（複数回答可）

回答合計

肩関節

肘関節

膝関節

その他

1-3 寝返り

できる

つかまれば可

できない

1-4 起き上がり

できる

つかまれば可

1-1、1-2 には、回答合計を記入。

【例】左上肢、右上肢の2ヶ所にチェックの場合は、回答合計に「2」を記入。

特記事項記入のポイント

- **調査項目(74項目)すべて**について記入をお願いします。
- ワープロで記入する場合は、変換ミスに注意してください。
- 手書きの場合は、**大きめの読みやすい字**で記入してください。

※注：個人が特定されないよう記入してください。

(施設・病院等の名称は記入せず、施設・病院の種類のみ記入。地名は「市外」、「県外」と記入)

認定調査票特記事項

2	0				
保険者番号					
3	5	2	1	5	3

被保険者番号					

特記事項を記入するときは、括弧内にそれぞれの調査群内の該当項番を記入してください。

特記事項(調査対象者の家族状況、調査対象者の居住環境、日常的に使用する機器・器械の有無等について)

審査会が対象者の状況を把握する為に参照する重要な項目です。

(必須項目)

- **申請区分及び申請に至った経緯**
- **実施場所**(自宅・施設・病院等)
- **聞き取り、立ち合いした人**
(対象者・家族(本人からみて誰か)・ケアマネ・看護師・支援員等)
- **家族構成**(独居・独身・別居、同居介護に関わる家族等)及び居住環境
- **主たる介護者及び介護内容**(主に在宅の場合)
(選択項目)申請状況に応じて判断し記載をお願いします。
- **現在のサービス内容及び今後のサービス利用希望等**
(対象者及び家族の今後どのような生活(サービス)を希望しているか?)
- **変更申請の場合の変更理由**
(疾患・心身の状況等要介護状態について)
- **既往歴**
(要介護状態に至るまでの主たる疾患を中心に)
- **日常的に使用する機器・機械の有無** 等を「である」調で記入のこと

特記事項は、**3枚1組(20-22)**です。
2枚以上かつ、**3枚以内**におさまるよう記入してください。

4枚に渡って記入された場合は、**3枚になるように修正いただき、再提出いただきます。**

※提出前に、再度の確認をお願いします。

★はテキストを熟読の上、必ずご記入ください。

認定調査票特記事項

2	1
---	---

保険者番号

3	5	2	1	5	3
---	---	---	---	---	---

被保険者番号

0	0	0	0	0	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---	---

特記事項を記入するときは、括弧内にそれぞれの調査群内の該当項番を記入してください。

☐ () 特記事項の2枚目以降は、一番上の口より上には文字を書かないでください。 ☐ () () () ☐ () () () □の中に調査項目の番号を、()の中に枝番号を記入。 調査項目群、枝番号の小さいものから順番に、罫線に沿って記入してください。 ☐ () () () ☐ () () () ☐ () () () ☐ () () () ☐ () () () ☐ () () ()	★ 「できる」「介助されていない」場合でも必ず記入をしてください。 ★ 1 群 1-1、1-2 は、確認動作ができた場合は、どのような動作であったかを具体的に記入。確認動作ができなかった場合は、その理由を記入してください。 【例】「右上肢を前方 1/2 程度しか上げられず『右上肢』を選択」 ★ 3 群は、できた場合でも必ず日頃の状況も含め詳しく記入してください。 【例】「3（1～7）確認してできた。日頃も〇〇である。」 ★ 介助の内容・手間の状況が具体的に読み取れるよう記載してください。 【良い例】「立位困難であり体重も重く、介助者○人で抱えて車椅子やベッドへの移乗介助をしている」 【悪い例】「立位困難なため移乗は全介助」 ★ 2 群・5 群 介護認定審査会で「介護の手間」の「量」を判断する上で重要な項目です。具体的な「介護の手間」と「頻度」を記載してください。 特に個性の高い項目「2-2 移動」「2-4 食事摂取」「2-5・2-6 排尿 排便」は軽度者であっても「どのように行っているか」状況を記載してください。 ★ BPSD関連項目（主に4群） 周囲の対応の有無（対応状況）・行動の出現頻度を具体的に記載してください。 <特別な医療> 点滴 <日常生活自立度> 障害 5 群の次からは、<特別の医療><日常生活自立度>のように、項目名を記入してください。 【日常生活自立度】は選択根拠を必ず記入してください。
---	---

認定調査票記入の留意点】

1. 介護認定審査会に正確な情報を伝えるため、見やすい特記事項・わかりやすい文章表現を心がけてください。
 - ◆機械で読み取るため、枠内に記入してください。
 - ◆訂正箇所が多くなると、読みにくい資料となってしまいます。
内容を整理し、記載後は再度見直しをお願いいたします。
 - ◆主語と述語の関係性や、文章の構成などを意識し、誰が読んでもわかるよう記載してください。
 - ◆個人が特定されないよう記入してください。**固有名詞や生年月日、施設名等の記載は避けて**ください。
※特別養護老人ホームや有料老人ホームなど、施設の種類に関わらず、「施設」で統一してご記入ください。
 - ◆略語は避けてください。「リハパン」→「リハビリパンツ」
「デイ」→「デイサービス」または「デイケア」
「Pトイレ」→「ポータブルトイレ」
2. 本人・家族が調査票記載内容を知る可能性があること（情報開示制度）に留意し、記載してください。
 - ◆人権上問題のある差別用語や、本人・家族が不快と感じるような表現は使用しないでください。
 - ◆主観的な表現ではなく、客観的な事実を記載してください。
 - ◆本人・家族の発言であっても、言葉を言い換え、状況が理解できるように記載してください。

提出前にもう一度以下を中心にチェックをお願いします！

□調査員氏名・調査日の記入の有無

□基本調査の選択肢と特記事項の記載内容の整合性

※全体を通して各選択肢を読み返したときに、矛盾がある選択になっていないか。

□他の人が読んでも、伝わる文章表現

□選択もれ・記載もれ

※特に、4群の選択もれ、サービス利用欄、麻痺・拘縮、特別な医療などの記載もれがないか。

□特記事項用紙の罫線や枠内に印刷・記載

※特記事項用紙は、3枚以内（20～23）で記入すること。

※上から順に記載し、途中空欄がないようにすること。

□個人が特定できない記載

※個人情報（個人名、事業所、施設名、病院、住所など）は記載しないこと。

□認定調査票 [14]から[22]までの被保険者番号が同一

※被保険者番号が違うものでないか、要確認。